

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

創造と開発を基本とし、常に世界最高の技術に挑戦し、製品を通じて科学の進歩と社会の発展に貢献する。

売上高営業利益率
20%

ROE
15%以上

ROIC
15%以上

2 中長期の経営戦略

1. 長期ビジョン『ビジョン2035』

最先端テクノロジーに挑戦するお客様とイノベーションを共創する、グローバルリーダーになる。

3. 重点領域の設定

高い市場成長性と当社のニッチテクノロジーが活用できる半導体・ライフサイエンス分野に集中。

2. 『YOKOGUSHI 2.0』の深化

機器/機能、アプリケーション/サービス、共創の3軸革新により、分野別ソリューション強化。

4. 収益性向上への取り組み

資本効率を重視した経営を促進し、コア事業の稼ぐ力を磨く。

3 対処すべき課題

① 地政学的リスクと経済不確実性

- ・イスラエル・パレスチナ情勢およびウクライナ情勢への対応
- ・円安に起因する原材料・エネルギー価格高止まり
- ・中国経済減速への経営課題

② 課題解決型の価値提供強化

- ・製品ごとのマーケットアプローチ方法の変革
- ・顧客の想像を超えるイノベーション提供
- ・分野別ソリューション基盤の更なる強化

③ 資本効率と成長の両立

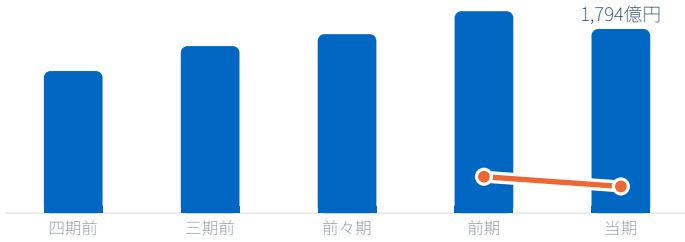
- ・戦略的投資による成長機会の追求
- ・株主還元の実現
- ・持続可能性と資本効率の両立

面接で使えるポイント

- ・ビジョン2035で掲げる『最先端テクノロジー』と『グローバルリーダー』実現に向けた挑戦への参加意欲
- ・YOKOGUSHI 2.0による3軸（機器/機能、アプリケーション/サービス…
- ・半導体・ライフサイエンスの重点2領域で、ニッチテクノロジーを活かす具体的なキャリアビジョン

証券コード 6951

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,794億円営業利益率
14.5%財務健康度
74点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 66.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
858万円

電気機器内 40位/225社

平均年齢
44.6歳

電気機器内 71位/225社

平均勤続
15.9年

電気機器内 117位/225社

女性管理職
6.3%

電気機器内 71位/182社

男性育休
88.0%

電気機器内 65位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 野村證券株式会社が日本電子株式会社<6951>株式の変更報告

